

平成 24 年 6 月 29 日

各 位

東京都荒川区南千住一丁目 1 番 20 号
株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号：6255 東証マザーズ)
問合せ先 取締役副社長 佐藤 寿
(TEL 03-5615-5069)

経営の合理化に関するお知らせ

当社は、平成24年6月29日開催の取締役会において、下記のとおり経営の合理化を実施することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 経営の合理化を実施する理由

これまで当社グループは「シェア 55%の維持、利益重視」という方針の下、「バランスシートの修復」、「投入した新製品の収穫」、「海外生産（部品調達）の拡大」という3つのアクションプランに加え、組織の統合・集約や報酬の見直し等による総費用（販売管理費・製造経費）の削減を推進してまいりました。また、連結子会社であった Meier Solar Solutions GmbH（現在は合併に伴い NPC-Meier GmbH に名称変更）の再構築として、当社子会社である NPC Europe GmbH との合併による事業所の再編、最高財務責任者（CFO）の派遣、人件費の削減等による損益分岐点の引き下げに取り組んでまいりました。

しかしながら、当社グループが属する太陽電池業界では、太陽電池の設置の中心であった欧州の金融不安の影響や、太陽電池の主力設置先であるドイツ及びイタリアにおける電力買取制度を含む政府の支援政策の動向が不透明であること等により、太陽電池の需要動向を予測することが難しくなっております。そのため、当社顧客である太陽電池メーカーが設備投資に対して慎重になっていることから、当社の主力事業である太陽電池製造装置の市場規模は想定以上に落ち込んでおります。その結果として、当社の受注も期初の想定以上に低水準で推移しており、平成 24 年 6 月 29 日に公表した「業績予想の修正及び特別損失の計上に関わるお知らせ」のとおり、今期の通期業績は営業損失を計上するものと予想しております。

このような状況に対し、現在のアクションプランや総費用の削減計画の推進だけではなく、更なる経営の合理化努力が必要であると考え、以下の経営の合理化を実施することとしました。

2. 経営の合理化の内容

(1) 希望退職の募集

対 象	当社正社員及び海外子会社への出向者
募 集 人 数	合計 120 名程度 (平成 24 年 6 月 29 日現在の当社正社員及び海外子会社への出向者数 441 名)
募 集 期 間	平成 24 年 7 月 2 日～平成 24 年 7 月 18 日
退 職 日	平成 24 年 7 月 31 日
そ の 他	退職者には特別退職金を支給する。

(2) 社員給与の減額

全社員を対象とし、給与を減額します。

(3) 役員報酬の削減

取締役数の削減と役員報酬を減額します。

3. 今後の見通し

今回の合理化の効果として、「(1)希望退職者の募集」と「(2)社員給与の減額」により人件費の削減を図り、「(3)役員報酬の削減」により役員報酬の総額を 40%削減することで、平成 25 年 8 月期は合計約 5 億円の費用の削減を見込んでおります。

また、平成 24 年 6 月 29 日に公表した「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、今回の希望退職に伴い発生する特別退職金の費用約 100 百万円を当期の特別損失として計上する予定であります。

以上